

《具体的な意見》

No.	提出された意見の要旨	提出された意見に対する市の考え方	反映
1	「美唄国設スキー場整備基本計画策定の目的」に記載がありましたが、「冬期間、市内外から多くの人を訪れ、交流人口の増加に貢献している重要な施設」とありました。実際、シーズンにどれくらいの利用者数があるのでしょうか？年々増加しているのですか？多くの人を訪れているようには思えません。	スキー場施設の利用者数は年間18,000人を超える人が訪れ、リフト輸送数は186,000回を超えています。 本市の観光施設では、ピパの湯ゆ〜りん館、アルテピアッツァ美唄、アルペンゴルフ5に続いて、多くの観光客が訪れる場所となっています。	C
2	多額の税金をかけて、設備を整備するのには反対です。	美唄国設スキー場は開業から50年が経過し、リフトやレストハウスの老朽化、駐車場不足等、様々な課題を解決するため、スキー場を整備することとなりました。 整備にあたり、市費持出し額が多額にならないよう有利な財源確保に努めて進めているところです。 スキー場は市外からの来場も多く、本市の観光消費額として効果のある場所となっています。	C
3	今回の計画よりも、美唄市内の観光に繋がり経済効果が期待できるような違う計画を検討してほしいです。	観光施設であるスキー場は、観光ビジョンの基本方針に沿って進めており、現在は、温泉&スキーのセット利用により相互の連携による経済効果を生み出す努力をしています。今後は、さらに、「冬」「雪」を美唄の強みとして地域全体に経済効果や地域の活性化を推進するため検討してまいります。	C
4	リフトを現状の2人乗りから4人乗りにする事は再検討が必要と考えます。	老朽化したリフトの架け替えについては、市長とのオープンディスカッションや市民検討委員会、市議会の説明等、多くの方のご意見をお聞きしております。 ご意見は、参考とさせていただき、今後、基本設計等で決定してまいります。	C

5	①4人乗りリフトは乗り降りがしにくく危険が伴う	リフト乗降場では職員が付き、初心者が安全に利用できるよう引き続き配慮を行います。 今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
6	②ゲレンデの規模に対し4人乗りは不釣り合いな事も想定される。 ムービングベルトの設置により上級者コースの混雑は緩和されるはず。	ゲレンデの状況には余裕があり、これまで以上に利用が増えても対応可能な施設にすることとしています。 ムービングベルト導入により多様な層に対応可能な施設を目指します。	C
7	③市公共施設の劣化が進み改修・立て直しを早急に進めて行く必要が迫られている中で予算に余裕が無い筈ですから責任ある予算枠を決定する事は市の責任です。	ご意見を参考に、スキー場整備にあたり、市費持出し額が多額にならないよう有利な財源確保に努めてまいります。	C
8	トイレと駐車場は道道美唄富良野線利用者が容易に使えるように対応が必要。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
9	整備方針、コンセプトについて、概ね内容に賛同し、センターハウスのレイアウト、規模については、利用実態やアンケートをもとに利便性の向上とともに運営しやすい施設整備を希望する。 リフトは、将来の維持管理コストを見通した機種設定が必要（4人乗り導入） 駐車場は、内容に賛同している。サイン等の明示は必要。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。また、駐車場のサイン明示について基本計画書の中に意見を反映いたします。	A
10	ゲレンデの造成、照明機器の更新が盛り込まれていないので整備方針の可否について明記と思います。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
11	照明機器の老朽化が進んでいると思われる、夜間営業時の安全対策が必要であり照明灯の更新を希望します。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
12	リフト乗車ゲートを希望します	基本計画（素案）P23において「自動改札機」の予定をしております	B

13	圧雪車車庫にも施設担当者用のトイレ、水道設備が必要と思います。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
14	リニューアルと合わせてWEBサイト、SNSを活用し情報発信を積極的に行っていただきたいと思います。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
15	ムービングベルトについて 必要性、維持管理、設置場所の観点から、ムービングベルトの設置は難しいものと考えます。特に営業する指定管理者にとって費用対効果を考えた場合、シーズン中どれだけの利用と収入が有るのか熊野坂のJバーの二の舞を踏むことになると思われます。 また、リゾートスキー場以外道内スキー場に設置されていないのも同様な理由が考えられると思います。	ムービングベルトについては、市民検討委員会の中で検討を重ねた結果、初心者に目を向けた新たな対応策としているところであります。リニューアル後のスキー場全体の施設管理及び維持管理等については、費用対効果を検討してまいります。	C
16	格納スペースについて センターハウス内の倉庫はレンタル関連の物品スペースを含め、もう少しの余裕のあった倉庫が必要と思われます。圧雪車車庫についてもスキー場資材を考えるとやや大きめの倉庫を希望します。また、備品等を乾燥させることができるスペースもあると助かります。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
17	職員駐車場について 現在、スキー場職員は駐車場の東側端に駐車しております。大会等の車両の多い時は体育館横と早朝から非常に遠い駐車となっております。 センターハウス西側または圧雪車車庫付近に職員駐車場を作っていただければ非常に助かります。	基本計画（素案）P18では、従業員用の駐車エリアを計画しておりますが、動線図に反映していないため、追加明記により反映いたします。	A
18	近将来的な要望について 例年スキー場のオープンは12月下旬、積雪の少ない時は正月となります。札幌や空知からアクセスの良いスキー場ですので、早い時期でのオープンとなれば来場者の増加は期待できると思われます。その手段として、降雪機の設置を要望いたします。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C

19	近将来的な要望について 折角、センターハウスや駐車場が完備されたのですから集客増を図る営業期間の延長を望みます。 期間延長は指定管理の考え如何によりますが、特に南空知地区のスキー場は勤務員確保のため早期にクローズする所が多く、長期営業をスキー場の目玉として頂ければ私のみならず多くのスキーヤー・ボーダーが利用することと思います。	今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C
20	疑問について センターハウスに食堂（個室）が2か所計画されています。スキー場へのお客さん対応とするならば完全個室ではなく、大きなスペースの食堂の中、臨時パーティションで区切れる方が常設で設置するより宜しいのではないのでしょうか。 また、中二階の食堂が有りますが眺望は良いとは思うもののスキー靴を履いて食事を持って中二階への移動はやや危険に思われます。	基本計画（素案）P21センターハウスの配置について、ご意見を踏まえ反映いたします。	A
21	基本計画について満足しています。期待しています。 要望として、道道美唄富良野線が開通して交通量が増えると思います。夏場のスキー場のPRを充実してほしい。それに伴いオープン時期を早めることにも繋がると思います。リフト降り場の拡張も必要です。	夏場のPR活動及び環境整備について、施設リニューアル後の管理運営の充実とするための参考にさせていただきます。また、リフト降り場の拡張について、今後の基本設計における参考意見とさせていただきます。	C